

運動会を終えて

ねらいは達成できましたか

運動会には、「7つのねらい」がありました。

2学年の先生達で各項目について4段階で評価しました。右にある数字はその平均点です。

1	運動会を通した学級・学年づくり	3.3
2	縦割り群の実施により、異学年交流を深める	2.8
3	競技を通して体力の増強と健康な心身の育成を図る	3.2
4	出場競技や委員会・係活動を通して自己の役割を自覚し責任を果たす	3.3
5	仲間との活動の中で思いやりの心や団結心を育てる	3.7
6	あじさい運動・五つの一番を推進する	3.3
7	地域に根ざす運動会。地域や家庭に「北中のカッコよさ」をアピールする	3.7



わたしたちは、参加者として、というより、指導する立場として評価するものですので、みなさんの見方とは少々異なります。さて、みなさんなら、どんな自己評価になるでしょうか。

物事には、必ず「ねらい」があります。運動会のような学校行事にも、行事そのものに一生懸命取り組むことはもちろんですが、「その行事をとおしてどう成長するか」という次のステージが、本当のねらいだからです。運動会は、運動会の実施がねらいではありません。運動会をとおして、何を身につけるのか、をねらいとして設定しています。

体育委員さんが奮闘してくれた選手決めから始まった、今年の運動会。昨年までと違い、縦割りチームによる練習で、3年生の団長さんや種目リーダーさんたちには本当に助けられました。たくさん励まされ



れましたね。憧れるべき、立派な3年生です。各委員会での仕事も、自分の役割をしっかりと把握し、工夫しながら作業する姿を多く見付けました。「みんなでつくる運動会」が実現したことを誇りに思います。各クラ



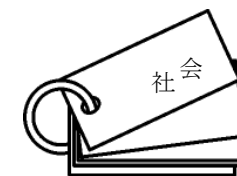
1

2

3

スでも、様々なドラマがあったことでしょう。自分たちのクラスでしかわからない苦労、そして喜び。こうした、当日だけでない「運動会の取組」が、みなさんの自己評価を高めてくれることを願います。おそらく、上の「先生方の評価」よりも、みなさんの自己評価の方が上回るのではないのでしょうか。7つのねらいを達成したみなさんは、少しだけまた成長しているに違いありません。

実力テストを行います



15日に第1回実力テストを行います。（今年度は3回行います。今回のテストの範囲表は31日に配りました。中間テストや期末テストに比べ出題範囲が広がっています。社会科でいうと、中間テストの出題範囲は28ページ、実力テストの出題範囲48ページ（資料のページはのぞいてあります）となっています。

「範囲が広いから勉強してもしょうがない」「範囲が広く何を勉強していいかわ

1 漬け



からない」などといった声が聞こえてきそうですが、使う学習手段は身近にいくつもあります。

第一は教科書。復習のために、教科書を読んでみましょう。忘れてしまっていたことを思い出すこともあるはずです。次に、授業のノート。（捨ててしまったなんてことはないでしょうね。高校入試のための勉強でも参考になります。）教科書に比べて、学習内容がコンパクトにまとめられています。

テストの時に、「覚えたはずなんだけど、できなかった」という経験がある人もいると思います。以前の学年通信にも書きましたが、問題集などを解く学習をしていくと、自分は「どこは理解できていて、どこが理解できていないのか」を確認することができます。そうすると、何を・どこを学習しなければいけないのか、自分の弱点がはっきりします。そこを重点的に学習していけばいいわけです。



昼休みの1コマ
教室での円陣



30人31脚



5つのリレー